

## 第27期第5回理事会議事録

日 時：1994年5月24日 17時00分～19時40分

場 所：お茶の水スクエアC館会議室

出席者：浅井、竹内、岩崎、大西、小倉、木田、関口、  
中村、新田、藤谷、松野、村上、菊地、久保  
田、白木、武田、廣田、佐橋、高橋、小林、  
石島 以上21名

### 議 事

#### 1. 第27期第15回常任理事会議事録の確認

一部修正のうえ承認。

#### 2. 各委員会からの報告及び審議

庶務…転載許可1件(『天気』に掲載した写真、長野  
県御代田町より)

- ・1994年会費の納入はほぼ完了。未納者に2  
回督促状発送し、5月20日現在71名が未納。
- ・総会委任状は最低必要数が集まっている。
- ・5月20日に学術会議第16期会員の地球物理  
学研究連絡委員会推薦人会議が開かれ、2  
名の推薦を決定した。

会計…会計監査を4月26日に受けた。監査意見は総  
会資料のとおり。

- ・IAMAPの清算払いとして800万円を産経コ  
ンベンションに支払った。6月中には最終  
的な決算が行われ、残高の半分が気象学会  
に戻される。

天気…5月号の内容及び6、7月号の予定を報告。

- ・IAMAPの特集号が完成した。5月号と一  
緒に発送する。
- ・常任理事会などで出た支部活動の広報強化  
に関連して、編集委員長から地区編集委員  
に「支部だより」への情報提供強化などを  
依頼する手紙を出した。

気象集誌…1994年3号の校正が始まった。TOGA特  
集号の原稿が集まりだしている。

講演企画…大会の講演申し込み件数が増加してい  
ることに対処するため、春季大会中に会員か  
らアンケートを取る。結果は講演企画委員  
会で議論し、(常任)理事会にも報告する。

総合計画…関東支部をどう組織していくかが次期理  
事会の課題となろう。

教育と普及…夏季大学の準備は順調に進んでいる。

『天気』の気象談話室はもう一度、企画の段  
階から練り直したが、ぼつぼつと原稿が集

まりだしている。

国際学術交流…基金運用規定改正案について理事会  
として審議。補助金受領者の決定権限は委  
員会にあるものとし、結果を常任理事会に  
報告するとの手順を明確に記述するなど、  
一部を修正のうえ改正案を承認。

パソコン通信…4月の着信件数265件。

- ・現在の会員数は246名。年に50～60名のペー  
スで増加している。会員のうち半数は学会  
会員以外である。
- ・来期の重点課題として学会周辺の人への広  
報活動を強化し、データベースの機能も強  
化したい。

各賞…奨励金の候補者の募集を行っている。5月末  
締め切り。

山本・正野賞…昨日委員会を開催し、候補が内定し  
た。2月に各理事に推薦の依頼を出したが、  
今回も推薦が非常に少なかった。引き続き  
協力をお願いしたい。

#### 3. 会員の新規加入等について

個人15名、団体1の入会を承認。個人2名、団体  
1の退会を報告。

#### 4. 1994年度総会議案について

庶務、会計、総合計画の各担当から内容を説明。  
全員一致ですべての案件を承認。

#### 5. 1994年度文部省科学研究費「研究成果公开发表 (B)」への応募について

標記の科学研究補助金が今年度から新設されたた  
の情報が有り、夏季大学への補助金交付を申請して  
みる。

#### 6. 1995年度春季・秋季大会について

春季大会の担当は東京管区気象台および気象庁海  
洋気象部、秋季大会の担当は関西支部とすることを  
理事会として決定。

#### 7. 千葉大学環境リモートセンシング研究センター設 立に関して

標記センターの設立に関して、浅井理事長、松野  
理事からその後の経過の報告があった。その中で、  
海洋学会も千葉大学学長宛に要望書を提出したこと  
などが紹介された。要望書の宛先を千葉大学長とす  
ることについて疑問が出されたり、研究センターの  
基本構想についての資料が不足しているなどのた

め、理事会として結論を出せなかった。

引き続き、浅井理事長と松野理事が千葉大学の竹内会員と連絡を取り、次回の理事会（新旧引き継ぎ理事会の予定）に提案することとする。

#### 8. 第28期役員体制の発足について

従来は役員選挙は6月、引き継ぎは8月1日付け

で行ってきたが、今回は5月の総会で承認されれば正式に役員体制が決定される。このため、新旧引き継ぎを従来よりも1か月早めて、7月1日付けとすることを理事会として確認。現役員は任期途中の退任となるため、辞任届の提出が必要になろう。引き継ぎの理事会は6月下旬に行う。



## 助教授公募

東京大学大学院理学系研究科 地球惑星物理学教室

### 1. 公募の対象

大気海洋物理学大講座の助教授 1名

大気海洋力学（特に海洋物理学）を研究している人。海洋モデルを用いたデータ同化と予報可能性の基礎的研究に意欲のある方が望ましい。

### 2. 着任時期

平成6年度内（決定後なるべく早い時期）を希望。

### 3. 応募書類等

ア) 略歴書（学歴及び職歴）

イ) 業績目録（レフェリーのある論文と、それ以外の総説等に分けて下さい）

ウ) 主要論文3篇の別刷またはコピー

エ) 他薦の場合は推薦状、自薦の場合は所見を伺うことのできる2-3名の方の氏名と連絡先（住所、電話等）

オ) 自薦の場合、今後の研究計画、抱負等（A4版2枚程度）

### 4. 応募・推薦の締切

平成6年9月1日（木）必着

### 5. 書類送付先並びに問い合わせ先

〒113 東京都文京区弥生2-11-16

東京大学大学院理学系研究科

地球惑星物理学教室

主任 河野 長

電話03-3812-2111 内線4310

ファクシミリ 03-3818-3247

応募書類の封筒には「大気海洋物理学大講座助教授応募」と朱書きし、簡易書留で郵送してください。